

1. はじめに

私がモンタナ州立大学への留学を考え始めたのは、大学受験の時期でした。熊本北高校の英語科に在籍していた私は、高校1年生のころ、姉妹校であるモンタナ州にある高校を約1週間訪れた経験がありました。その時に感じたモンタナ州の広大な自然や、人々のやさしさから、熊本県立大学に入学した際にはこの交換留学プログラムに挑戦しようと考えていました。行動に移したのは3年生になってからと遅かったですが、そのおかげで卒業前に貴重な経験をさせていただくことができました。

2. 大学生活

私は、留学中寮生活をしていました。MSUB では多くの留学生だけでなく、アメリカの学生の多くも入学した年は寮生活を経験する人が多く、たくさんの学生との交流があります。部屋はダブルルームとシングルルームの2種類があり、自分の希望によって好きな部屋を選ぶことができます。私は、一学期目はアメリカ人のルームメイトと生活してみたいと思い、ダブルルームを選択しました。最初は文化の違いや、生活習慣の違いを心配していましたが、部屋を申し込む段階で、いろいろなアンケートを記入し、その中から自分と似た生活リズムの人が、ルームメイトとして選ばれるので、このような心配事は実際に起こることはなく、とても楽しく過ごすことができました。また、ルームメイトの家によく呼んでもらい、一緒に夜ご飯や誕生日会、ハロウィンパーティーなどもさせていただきました。二学期目はルームメイトが寮を出て、実家に帰ることになったので、私もシングルルームに移ることにしました。私は、二学期目に専門的な分野を学んでおり、課題や予習が一学期目より増えていたので、シングルルームで自分のペースで課題に取り組めたことはよかったです。どちらの選択肢もメリットがありますが、アメリカ人のルームメイトを持つことは日本ではなかなか経験できないことだと思うので、これから留学される方には、ダブルルームを経験してほしいと思います。

また、学校内にはいろいろな施設が整っており、学校外に出なくても十分に生活することができました。自分の部屋以外にも、各寮のフロアにはスタディールームがあり、ソファやテレビがあり、友達とくつろげるロビーも





あります。カフェテリアでは、毎日バイキング形式の食事を、寮費と一緒に払うミールプランというものから食べることができます。そのほか、スターバックスやサンドイッチ店もあり、毎日いろいろなものを食べることができました。もちろん自分で料理をしたくなったら、各フロアにある共有キッチンで料理をすることができるので、日本所句を作ってみんなで食べることもありました。試験期間になると、図

書館は夜遅くまで空いているので、勉強にも集中しやすい環境が整っていました。

3. 授業

私は、春学期・秋学期とも4教科ずつ授業を受けていました。最初の秋学期はまず新しい生活やアメリカの大学生活に慣れるために、比較的一般的な英語やコミュニケーションの授業を受けていました。春学期になると留学生活にも慣れてきたので、スピーキングの授業や、私の専攻である英語教育に関連した授業を受けていました。どの授業にも共通して言えることは、毎回必ずと言っていいほど課題や予習が出されていたことです。授業後図書館で友達と勉強をしたり、to do list を活用したりしながら課題に取り組んでいました。また、課題の内容や英語でわからない点があれば、オフィスアワーと呼ばれる教授に直接質問をしに行ける時間を活用する、また、ネイティブの同じ授業をとっている友達に質問をするなど、助けてもらうこともありました。特に苦労をした授業は、Communication in Small Groups という授業と Intro to Psycholinguistic という授業でした。コミュニケーションの授業の方では、基本ディスカッションで行われる授業スタイルで、私以外はアメリカ人の学生ばかりだったので、まずは授業内容を理解することに精一杯でなかなか意見を求められても、自分の意見を発表することはできませんでした。しかし、学期の後半になるとだんだん授業のスピードについていけるようになり、発言をする回数も増えました。サイコリングスティックの授業はレクチャースタイルだったのですが、板書を書き写しながら、リスニングの作業もしなくてはいけない点に苦労しました。そのおかげで、確実に英語力が上がったように思いました。



4. 国際交流

私が MSUB に交換留学生として受け入れられたのと同じタイミングで、約 15 人の交換留学生がいました。ドイツ・イギリス・スロバキア・韓国・日本と、世界各国から MSUB には交換留学の制度があることを知りました。学校が始まる直前に、交換留学生のみならず、イエローストーン国立公園に一泊二日でキャンプに行ったのは、お互いを知る良いきっかけとなり楽しく過ごすことができました。また、その後の学校生活の中でもお互いに助け合いながら、授業を乗り切ったこともありました。大学生活以外でも、一緒に旅行に行ったり、ご飯を食べに行ったりとたくさんの時間を共に過ごす貴重な友達になることができました。文化の違いを理解しあいながら、お互いを理解していくことは、より深い関係を作ることに繋がりました。



5. 最後に

初めての長期留学ということで、渡航前は楽しみだけでなく不安もありましたが、実際に MSUB で学べたことはとても価値のあるものになりました。勉強や、英語力だけではなく、人間としても成長できたように思います。異文化の中で生活することは、コミュニケーション力や様々な勇気が必要なことに改めて気づくことができました。モンタナという場所であったからこそ体験できた自然や、温かい人たちとの出会い



にもとても感謝しています。今回の留学にかかわってくださったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。最初は不安もたくさんありましたが、勇気を出してこのプログラムにチャレンジしたことを、今はとても良かったと思っています。今後も向上心を忘れずに、英語にかかわることだけでなく、様々なことにチャレンジしていきたいなと思います！